

**【アメリカと日本と欧州を蝕む「物価上昇の本質」
について考える！】（2019年9月14日号）**

どうもゆうです！

こんにちは。

さてさて、昨日 THE THIRD の特別価格募集が

終わりましたね～

実はあの THE THIRD っていうのは身内で広まったと書いてましたが

それこそここだけの話、

1晩で数百万円とか数千万円稼ぐような

まあすごい富裕層みたいのがいて私の知人なんだけど

彼なんかはバカラ強くて、外国の富裕層たちにも知られてるけど、

そういうすごい富裕層も

実はあの The Third をポートフォリオに入れて

普通に副業的に回してるんですね。

要するに金持ちたちってのはどうも私の研究だと

勝てるものではなく、「負けないもの」を活用して資産を増やしてます。

なので「このEAプラス裁量ってのは何かほかと違うぞ」

と感じ取って安い価格で入られた方は目利きの力が

あると思いますよね。

というのは今回のキャンペーンでは

「100%勝てる」とかそういうのは一切世の中ないけど

その中で実績が出てるのでご自身の判断で検討してほしい」

って良く書いていたけど、

普通の人には 依存体質だからそこでは買わないものだけど、

やはりそこで リスク計算して

踏み込むタイプの自立心が強い人ってのは

そこで踏み込んでいけるのですが、

なんだかんだそういう人が多くの読者見ていても

数年後、お金持ちになってたりします。

だから自分でリスクを計算して負けないように工夫して

前に進んでいく自立心とか、

あとは目利きのかってのは今の資本主義の勝敗を分ける鍵

になっておりますよね。

基本的には世の中の勝負ってのは

「負けないこと」これに尽きるってことですね。

大多数は 勝とう勝とうとして結局最終的に負けてしまって

資産を増やせないけど

少数の人は 負けないように 負けないように 資金管理から

マインドから徹底して、

結果彼ら少数だけが金持ちになるってのが資本主義の縮図なんでしょう。

ちなみに私が 自分で稼ぐ という業界に興味持ってるのは

やはり資本主義の縮図がそこにあるからでして

それが面白いと思うんだけど、

上記の 「結局負けないことを意識することがもっとも重要」

って結論にたどり着いてしまった人はこれから結構無敵ですよ。

まあほんと私も色々日々勉強になることばかりです。

さて、それで・・・

実は最近この「負けないこと」につながるけど

「世界全体で物価が上昇してる」

んですね。

一応各国政府の統計上では、なんだかんだ

その国の国民が暮らせる水準で物価が上昇してる、

もしくはデフレだっていう話が流されるわけですが・・・

例えば日本の場合・・・

「物価すごく上がっていないですか？」

って話です。

ちなみにもう私には想定してる未来があって

それが「先進国中心にどんどん物価がさらに上がる」

ってのは以前書いたように見てまして、

今日はその物価上昇から「守る」ことなども

書いて行きたいと思います！





【アメリカと日本と欧州を蝕む「物価上昇」について考える！】



それで・・・私なんかはマレーシアにいたのですが

実はマレーシアなんかにいると

常に「物価上昇」に直面しますよね。

例えば、以前なんかは タクシーアプリのGRABってのが

すごい安かったんだけど

この数ヶ月、少し値上がりしていて、

以前は200円くらいで移動できた距離が時々

300円になってたりするわけです。

もちろん、以前と同じ金額くらいの場合もあるのだけど

GRABってのは需要が多いと、

AIが計算して価格が上がるシステムになっているのですが

そこで少し値段が上がってきてるってことですね。

こんなことが普通にアジアで暮らしていると普通で

「物価上昇」ってのは多くの人が生活で気にしている部分でして

実はアジアの政治問題の多くがこの「物価上昇」に

関わるものだったりします。

それで、じゃあ日本は？

っていうと、まあよく言われるのが 日本はデフレだ、

って話で、

物価上昇がほとんどしていない、

~~~~~

とか言いますが

~~~~~

それって本当でしょうか？

~~~~~

この前私なんかは日本に戻ったときに感じたのだけど

「俺が出国した3年前よりずいぶん物価が上がってきたな」

ってのは感じました。

驚いたのは普通に すき家っていう私が

学生時代からよく行っていた店にいったけど

以前はマグロたたき丼の特盛りってのがあって

ここに大量のマグロたたきが上に乗っかっている

っていう贅沢メニューなんだけど

これがびっくりしたのが 昔はこれセット価格で

700円台前半あたりだったと思うのですが

今は1000円前後するんですね。

あとはファミレスで普通に食事したら

今は大体1000円前後はしますけど

以前はファミレスなんてもっと安かったと思うんですね。

あとは電車代とかバス代とか、あとはスーパーで買う野菜とか

食材も見ただ、

とにかく「値段が上がっていた」ってのが印象的でした。

マレーシアの場合も 物価上昇はあるんだけど

日本の場合も負けていない、とは感じたわけです。

ちなみにマレーシアにいと、分かることがあつて

物価上昇は当然だ、つてことがあるんですが

どういふことか？つていふと

やっぱり物価、例えば一品あたりのお皿が高くなる店

なんてのは

常に前々から 混雑してたりするんですね。

だからその店が値段あげるのは当たり前だな～

つて感じで

単純に需要増で値段が上がるつてのがマレーシアです。

需要が強いお店とかは、やっぱり顧客が押し寄せるので

値上げしても売れますから、やっぱり値段が上がる

ってのがマレーシアに住んでると体感的に分かること

なんですね。

ただ日本の場合は少し違っていて、

私が日本に旅行に行くと、

やはりお店は閑散としてるところをよく目にしますし、

人気店ではない限り、マレーシアで見ると大混雑ってのは

あまり日本では見ないわけですね。

まあ落ち着いてるといっか。

ただ不思議ですよ。

そんな店舗たちが、それでも値上げしてるわけですから。

だから物価上昇と言う場合でも

先進国の日本やアメリカや欧州の物価上昇と

~~~~~

あとは新興国の物価上昇は少し

~~~~~

「質」が違うってことです。

~~~~~

これは、海外に住んでる日本人なんかもメルマガよく

見てくれてるけど、

そういう人ならすごい分かると思う。

だから 新興国のアジア圏なんかははっきり言えば

旺盛な需要があるから値段が上がる

健全なインフレ、物価上昇なんだけども、

それをなんとか政府が抑えようとしてるけど、

先進国の場合、違いましてこれが

「何らかの変な原因があつて、需要は弱いのに

物価が上昇してる」

ってことです。

ちなみに経済学者ってのがいて、この人たちは

「難しく分かりづらく書いて、 人々に

真実を教えない仕事」

であるので

私はなるべくこのメルマガを中学生～高校生くらいの

本読む人なら理解できるように書いてるんだけど、

例えば経済学者やアナリストが言う「インフレ率」自体が

本当は嘘なのでありますね。

日本の物価がほとんど上昇していない、という

感じで言われるわけですが

「それ本当なの？」

っていう主婦たちの実感があると思います。

100人の主婦に聞いて

「物価は上昇していませんよね？」とでも聞いたら

「いや～～すごい上がってますよ！スーパーで

果物一つ買うのが大変です！」

と反応が返ってくるのがきっと日本です。

だから主婦のほうが正しい経済観を持っているというのが

私の考え方ですが、

とりあえずど一見ても、日本の物価は上昇してる。

が・・・ 需要はそんなに強くない、実質は不況だ、

ってのが日本だけど、

これの意味するところは？

ってことですよね。

そう、それで最初に結論を書きますが

要するに「先進国中心に 通貨価値が下がってる」

~~~~~

ってのがこの物価上昇の本質ですよね。

~~~~~

ちなみにアメリカなんかで言うと

分かりやすいのが不動産価格なんだけども

アメリカのサンフランシスコなんかは

以前に書いたけど

一般的な賃貸物件の賃料は

4000 ドル（約 43 万円くらい）を超えちゃうわけですね。

これはもうアメリカってのがジャブジャブマネーを

しすぎていて、

そこでそのマネーが実際に不動産市場に入ってしまったら

価格を押し上げてるってのが実情でしょうが

となると、もうどんどん価格が上がっちゃうと。

だからサンフランシスコの中間層みたいな人でも

家賃43万円は払えませんから

だからホームレスが増えてて問題になってます。

それで日本の物価上昇なんかも上に書いたように

いたるところで物価上昇が進んでるわけですが

ここでもう気づくべきことは

「どうも

米ドルや 日本円や ユーロなどの通貨全体が

購買力をなくしてる」

ってことですよ？

ちなみに日本で暮らしていると、

おそらく 例えば以前に 1玉150円くらいで

買っていたキャベツが

1玉500円くらいになって

それで「ああ、物価上昇だ〜」っていう感じで

捉える人が多いと思うんだけど

少し見方を変える必要がありまして、

それは

今までは150枚の1円玉を出せば、

キャベツがその1円玉150枚と交換できたけど、

値上がりして500枚の1円玉を出さないと

キャベツとは交換できなくなった、

ってことです。

ってことは、

これ「通貨自体の価値が下がってる」

~~~~~

ってことなんです。

~~~~~

これが実は世界的な低金利の一番怖いところ、なんですね。

要するに各国の中央銀行が示し合わせて、

ジャブジャブマネーということで 量的緩和とか言いますが

もうとにかくお金すりまくるんだけど、

そうなる、そのしわ寄せってのは

「通貨価値の減少」に現れまして、

結果として物価が上昇してしまう

わけです。

それでこの「通貨価値の減少」ってのが

もう先進国全体を蝕みつつありますよね。

これは各国政府たちが隠してるから

あまり議論されないのだけでも、

大きな大きな問題です。

っていうのは日本では消費税増税ってのが

10月から始まるっていうことで

これが庶民の生活を追い詰めますから

問題になってるわけですが

実はもっと大きな「増税」ってのがこの

物価上昇なんですね。

すなわち各国中銀がジャブジャブマネーを展開する

わけですけど、

ここで確かに アメリカの債券市場なり株式市場は

一時的に守られるんだけども、

その中銀たちのありえない金融政策の結果、

実際には多くの人が持つてる預金なり、通貨の価値が

下がってしまうから

物価上昇と言う形でそれは生活に襲い掛かるわけですが

これが実は「ステルス増税」なんですね。

だから実は消費税より怖いのはこの「物価上昇による

ステルス増税」です。

ただこれがやはり 銀行家のすごい悪知恵が働く部分でして

例えば多くの人が 昔みたいに物々交換をしていたら、

こんなのは起こらないわけですね。

例えば 金貨や銀貨を使ってそれで人々が

決済をしていたならば・・・

このような物価上昇なんてのは先進国の人には

経済の需要も弱いんだし、本来は無関係です。

ただここに既存の 国債なんかの債券市場がました

通貨システムで私たち現代人は暮らしてるんだけど

というかその通貨システムを使わないと生活が成り立たないように

国家設計がされてますが、

そうなるところで人々は「国家信用に担保された

借金証書として通貨を使う」

わけですね。

だから通貨ってのは本質的には国家の借金証書

なんだけど

これは詳しい人は知ってるでしょう。

少なくとも各国富裕層たちはこういう話をどうもよく

してる。

それでここで人々は 通貨っていう借金証書を

これ決済手段として使って

またそれを銀行なりに貯蓄するわけですが

国家官僚の恐ろしいところってのは

その マネーってのをジャブジャブに刷ってしまつて

それで民衆が生産したその生産価値である

貯蓄とかを実質 奪えてしまう、わけです。

だから昔の1000万円ならその1000万円で

沢山色々なものが買えたとしても

今であれば1000万円あっても

気をつけないと物価が上昇していてすぐなくなってしまう

という時代なのかもしれません。

それでまさに今はそんな時代になってしまして

「官僚たちが通貨価値をどんどん減損させてる」

っていう現状でして、

日本円は比較的強いですが、

それでも日本円ベースでもやはり

そのお金で買えるものが少なくなってきていて、

例えば以前なんかは牛丼は250円でしたが

今は380円出さないと牛丼一杯と交換できなくなってきてる

ということですね。

それでどうも、この現象は先進国中で起こってること

なんですね。

先進国ってのは今まで アメリカ、日本、欧州で

ジャブジャブマネーをしてきまして、

また今度アメリカが ジャブジャブマネーの実質QE4

に入っていくでしょうが

もうそこでどんどん通貨価値が毀損（きそん）されていくと。

それで例えば日本で暮らしてる人なら

普段日本円を使ってるでしょうが

その日本円ベースの物価もどんどん上がってくるから

人々は暮らせなくなる、

っていう状態がもう出てきてるわけです。

すなわち 日本の物価上昇率ってのは実際はかなり

もう高い状態になってると私は見てるんだけども、

ただ一応統計上はそこまで物価上昇してないってことに

なってる。

ただ多くの人の昇給のスピードはその物価上昇に

追いついてませんから

だからどんどん貧しくなってるってのが日本の貧困の

本質としてありますよね。

ただこれが洗脳の怖さでして、

人々は「物価上昇してる」とまでは日本円っていう数字で

数字が上昇してるから 考えられるけど

「物価上昇してるってことはそもそも

通貨価値がどんどん毀損されてるってことじゃないか」

とは考えられないわけです。

大多数が洗脳されてるから。

だから、例えば銀行に1000万円の預金を

10年前に持っていた人は

今の銀行預金も金利がつかないから

大体1000万円前後かもしれませんが、

その1000万円は・・・

おそらく10年前の70%とか前後には

実質の価値は目減りしてるわけですね。

だからこれが 銀行家のすごいところで

1000万円は同じ1000万円なんだけど

だから人々は気づきづらいけど、

通貨価値による物価上昇で

その1000万円の価値はどんどん下がってる

ってのが最近の先進国の現状です。

だからここで分かるのは、

「日本で豊かになるためには

実際の誰も知らない物価上昇率以上に

稼いで資産を増やしていかないと

いけない。そうじゃないと貧乏になってしまう」

ってというのが分かるわけですね。

要するに私たちは「お金を稼ごう」とするけど

具体的には、大多数の日本人は

日本円を稼ごうと思ってます。

がその日本円を例えば1000万円稼いでも

それは放置していると、

~~~~~

実質的にどんどん減っていく、ってことですね。

~~~~~

これがだから中央銀行システムの本当に怖いところで

「実質のすさまじい増税」を「隠れながらできてしまう」

っていうところですよ。

私ゆうは消費税は問題だと、当然思う。

けどそれ以上に 通貨価値の毀損による

物価上昇によって 資産にダメージを受ける人のほうが

多いでしょうし、その被害は甚大なんですね。

だからよく「ハイパーインフレ議論」ってのがあって

それは 具体的に言うと 国債金利が日本は今は

マイナス金利ですが

ここで国債金利ってのは長期国債は市場の需要と供給で

基本的には決まりますから

そこでこれから国債金利が一気に1%、2%とあがって

それがコントロールできなくなる状態のことですよ。

ちなみにこれは知っておく必要があって

短期金利は操作できる。

けど長期金利は操作できない、んです。本来は。

それを操作しようとしてるのが黒田日銀ですが

「うーん、

いつまで操作できるんだろう」

という疑問符はつきますよね。

というのは歴史的に成功事例ゼロなので・・・

やはり市場の復讐はいつか来ると。

ただそれがアメリカの債券市場が崩れるほうが早ければ

円高になるし、

アメリカの債券市場より日本の債券市場が先に崩れれば

円安になるってことですけども

いずれにしても

「価値が下がっている

先進国の通貨同士のバランスで勝負するのが

FXの現状」

ではあるんですね。

だから今の時代、「自分で稼ぐ」と考えるけども

「稼げるようになった後」の話も

~~~~~

先進国の方は大事になってきてる、

~~~~~

ってこと。

要するにそれを 米ドルや日本円やユーロなんかの

先進国通貨にして保存していた場合、

その通貨の本質ってのは、各国政府の借金証書ですけども

実際はその借金証書（通貨）の価値が下がるように

各国政府はその借金証書を乱発してるわけですから

当然その あなたが稼いだお金を

そもそも 先進国通貨 のまま持っていたら

どんどん実質は目減りするってことですね。

これに気づいてる人はまだ少数だけど

最初例えば「自分でネットで稼ぐ」で稼げるようになりました、

となればみんな喜ぶ。

がその 稼いだお金は日本円だったり米ドルだったりするけど

その稼いだお金は 銀行預金で放置していると

どんどん実質の価値は落ちていく、わけです。

だから 資産はなんとか数字の複利で増やそうとするけど

その資産は最近は強烈に 数字上は同じでも

物価上昇なんかで価値が1日ごとに落ちていく

ってのが今の時代なんです。

だから 大きく上から押さえる、

民衆を貧乏にさせる強烈な力、が働いてる

ってことです。

だからそこで その「大きな力」に対抗するためには？

ってことですけど

ここでやはり実物資産の金ゴールドなんかが

この数ヶ月買われたわけですね。

それで金以外だと最近注目されてるのが

実は銀シルバーです。

ちなみにこのシルバーの件については

ちゃんと見ている、この行まで見ている人のために

書いてるけど

これはご自身の責任でやってほしいけど

シルバーなんかは長期保有では下手な株よりも

パフォーマンスを出す確率が高いですね。

まだみな気づいていない。

ちなみにシルバーってのは銀だけ、

昔日本でも 銀貨が使われていました。

例えば日本で「銀座」ってのがあ

あのオシャレな街ですが

もともと名前の通り「銀鑄造」から始まった

街ですね。

かつて銀貨を製造する「(江戸)銀座」ってのが

江戸時代にあったんです。

今の 東京の 銀座ってのは 江戸銀座から

始まっていて、

慶長 17 年 (西暦 1612) に

徳川幕府が 現在の東京中央区銀座に、

銀座役所 (銀貨幣鑄造所) を設置したんです。

それで当時、町名は新両替町とされたけど

通称で「銀座」と呼ばれ、

その後、明治2年には正式に町名が銀座となったのが

発端です。

だから日本列島でも江戸時代あたりには

銀貨を作っていたわけですね。

今は銀といわずシルバーだけでも、

やはり日本の歴史と銀は結構密接なつながりがある。

そんな銀ですが今は1オンスあたり17ドルくらいだけど

これがまあリーマンショック後には49ドルあたりを

つけてますから、

実は、かなり安い。

金価格は上がっちゃったけど・・・

銀は実はまだ安いんですよ。

だからこの銀で一部長期保有するっていうのも

金ゴールドと一緒に

この中央銀行の「ステルス増税」に対抗する

一つの手段です。

ちなみに金はかなり値段が上がっていますが

だから100万円で買えるのは

100グラム代後半でしょうが

銀の場合100万円だと14キロくらい買えるんでしょう。

そう、どうやって持ち運ぶんだ、っていう問題はあって

だから金がまず先に世界中の政府や金持ちに

現状買われていますが

銀なんかは動きは激しいものの、

10年単位の長期保有として考えたら

結構あり、ですよ。個人的な分析ですけど。

まあだから今なんかはとにかく

格好の中銀がジャブジャブマネーをして

私たちが日常的に使っている通貨の価値を減損させて

ステルスの増税攻撃を仕掛けてるのが実態ですが

(多くの方は気づいていないけども)

そこで先進国の人なんかは

物価上昇になってどんどん貧しくなってますけども、

ここで資産を守るために 金も重要だけど

銀なんかも 昔は銀貨なんかで決済されていたわけですから

これから銀は大事になりそうですね。

それでおそらくですが、これから上記のような

状況を多くの方がいずれ2020年代中盤あたりに

理解しだすでしょうが

そこで金価格なんかも反応することは当然想定できますが

銀価格なんかはそれと比べるとさらに抑えられてるから

実のところ保管場所だけが問題ですが

結構 金と銀 を両方持つておくのも大事になりそうだ

って話なんです。

(金が本命で、銀は金より時価総額で少なめの比率が適正かと

私は思う)

それでこのように稼いで回っていないお金を保存しておけば

かなり高い確率で

長期的には

ドルや円やユーロの通貨価値減少による

物価上昇なんかで資産の目減りを

防ぐことができ、投資家は資産形成を

スムーズにできる確率はあがるってことですよね。

ちなみにそれに多くの人が気づくのが

もう上がりきった数年後になると思いますので

今ほとんどの人は銀シルバーとかは言ってませんが

結構重要な知識かと思います。

だからこれからは どんなに稼いでも

通貨価値自体が下がってしまうわけなので、

実際は例えば1000万円稼いでも

それはそのままのドルや日本円やユーロの通貨のまま

にしていると

それがイメージ的には

翌年には900万円台に減って・・・

その翌年には800万円台に減って・・・

みたいな感じになるので、

「稼いだ後、 その稼いだお金を

どう F x や株だけではなく

金や銀に分配していくか」

ってのも大事になりますね。

この辺が分かってる人はほとんどいないので

知っていて実践する人はかなり

資産形成がスムーズになるだろう、と私は考えていました。

それでこれが考え方の重要なところで

普通だったら主観的な感じで

「物価が上昇して生活苦しいよ～いやだな～」

なんですね。

けどもう少し客観的に見て考えたら

「物価が世界的に上昇してるな～

やはり先進国の通貨価値ってのがどんどん減損してるぞ。

このまま先進国のドルや円やユーロばかり信頼していたら

やばそうだ。

しかし・・・

ってことはそれに対抗するために実物資産に割り振って

この中銀連合が仕掛ける通貨価値の下落に

対抗できるぞ。

お、そういえば結構実物資産でもまだまだ

安いものがあるな、これはさらに資産が増やせるぞ」

というそのピンチから長期で儲けるチャンスにつながる

考え方ってのがあられるわけです。

ピンチはチャンスだ、っていう良い言葉がありますが

それですね。

だからなんだかんだ消費税増税ですし

また通貨価値が下がるステルス増税ですが

思考が柔軟な人はそれでも生き残るだろう

ってのが私が最近考えていることです。

まあなので今の物価上昇の本質ってのは

数字だけ見てると分かりませんが

それは「先進国全体の通貨の価値が下がってる」

っていうことでして、

その対抗策としてはやはり金やら銀やらが

あるってことですね。

それで長期保有なら月足で見るのが大事でして、

ゴールドもシルバーも月足から見るのが基礎。

そうするとダウ理論を知ってる人ならば

大きなダウで言えば、金も銀も上昇トレンドと

定義できると分かる。

(短期～中期では下落トレンドも当然形成されてるけども)

ということで実は最近の

「先進国全体で民衆が貧しくなっている」

ってのは背後に

通貨価値減損をさせて喜んでる官僚公務員が存在しますが

彼らとの対抗策として

これらの実物資産をうまーく稼いだ分の一部を

割り当てていくってのは

これから大事になりますね。

アメリカの債券市場なんかは2020年代の中盤あたりを

目安に壊れそうな感じはありますが

まだ時間はありますので対策を練って

「負けないように」

考えていく必要が増してますね～

それでは！

ゆう

追伸・・・それでこの前書いたけど

アメリカも日本も欧州も本当の経済状況は

「不況下の物価上昇」であって

スタグフレーションです。

歴史的に多くの国の政府が借金を解消するために

通貨をジャブジャブ発行して

そしてハイパーインフレを起こさせて

民衆を苦しめたけども、

その際に必ずその前に

スタグフレーションと見られる現象が

起こってるんですよ。

通常のインフレーションってのは

成長中のアジアで見られるように

需要がどんどん拡大して 店舗主なんか

価格を引き上げることで起こりますが

先進国の実際の物価上昇ってのは

通貨価値が毀損してることで起こってるってことです。

すなわち同じ物価上昇に見えて、

例えば日本とマレーシアの物価上昇ってのは

似て非なるものですよ。

だから実は今の世界は先進国バブルなんです。

それを「中国はバブルだ～」とかいって

民衆に気づかせないってのが

官僚たちのプロパガンダ戦略ですね。

「いやいや中国よりも アメリカと日本と欧州がバブルでしょうよ」

ってのが真実ですが

(むしろ中国は習がバブルつぶしを常にしてる)

それを見破れないとすなわち貧乏になっちゃうってことです。

それでこれがさらに大事で、

先進国の政府たちはベネズエラと同じ状況に近づいていて

「本当はインフレが進んでるけど

その本当のインフレ率を公表できない」

とどうも最近なってるわけですね。

日本のインフレ率の発表のデータを見れば

その背後の母数となる対象商品などのデータが隠されていて

明確じゃない。

これが大事で 表向きは「インフレを作るぞ～」と

インフレターゲット論なんかで言いつつ

(本当は米日金利差を作って米国債買わせるためですね)

本当は官僚たちはそのインフレが進みすぎると恐ろしい事態になる

というのは知っている。

だから表向きはインフレ進めたい~といいつつ、

その本来のインフレ率を隠して デフレ装ってるってのが

日本の官僚政治の複雑さですがその辺が事実だろうと

私は見てます。

それでこれに気づかないと

将来的に長期で物価上昇という形で

資産が減っていく形になりますから

それに対抗するってのが実はすごい重要になってきてますね。

「先進国全体が低金利状態」

の恐ろしい意味ってのはその辺にあります。

すなわち消費税も怖いですが

それ以上に怖い ステルス増税のほうが

ダメージは大きいです。

が、政治家たちはその辺に突っ込めるほどの

力を現状持っていませんから

私たち民衆が

~~~~~

自分自身でなんとか資産保全を考える時代になってきてる

~~~~~

ってことですね。

江戸時代、徳川幕府は銀鑄造をまさに

東京の「銀座」で行っていたのだけど

いつの日か、「変な通貨システム」が欧米から

入ってきて、

私たち人類の生産性はステルス増税で

気づかぬように収奪されるようになったわけですが

その辺の歴史的な流れを知っておくのも大事でしょう。

そういう意味で金融知識ってのが

現代は大変重要になってますね。

それでは！

ゆう